

2024年11月20日
株式会社SVPジャパン

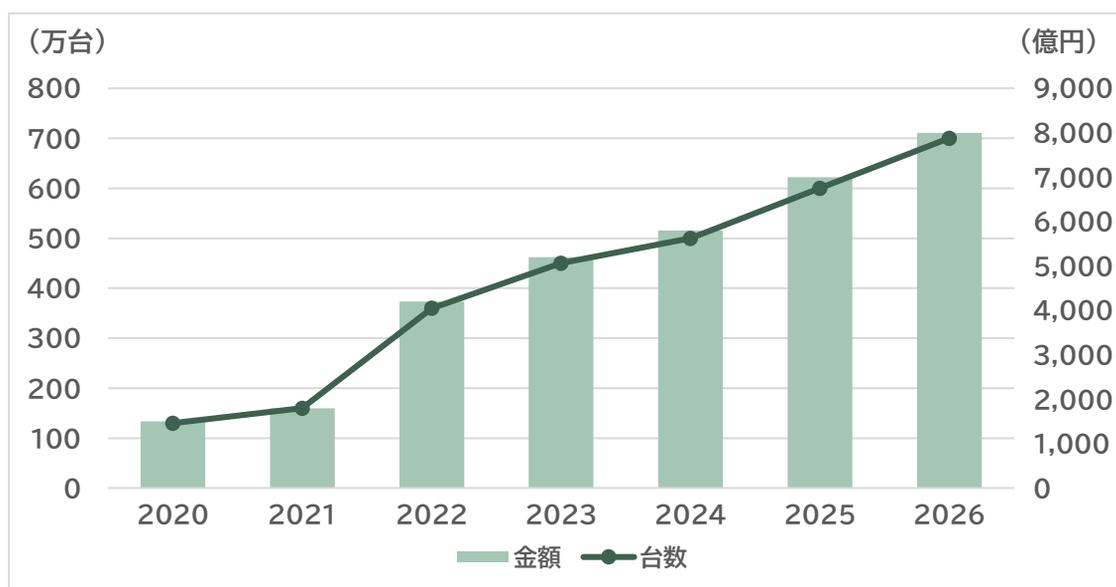
SVP注目市場分析 「EV/PHEV充電器」を公開

～中国主導で拡大するEV/PHEV充電インフラの動向～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「EV/PHEV充電器-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ EV/PHEV充電器の世界市場



2023年のEV/PHEV充電器の世界市場規模は約450万台で、家庭用が70%、公共用が30%を占め、金額ベースでは約5,200億円と推定される。特に中国が市場の拡大を牽引しており、世界市場の約70%弱を占める。中国国内では充電器の累計設置台数が700万台を超え、EV/PHEVの車両保有台数は約2,000万台に達している。主要市場としては、中国に次いで、欧州が16%、北米が11%を占めている。

一方、日本の市場シェアは1%に満たないが、2023年にはEVの販売台数が増加している。しかし、全体の普及率は中国や欧米に及ばず、家庭用充電器の需要もまだ低い。公共用充電器は約3万台で、経済産業省は2030年までに充電口を30万口に増やす方針を示している。

■ EV/PHEV充電器の市場概況

EV/PHEV充電器市場は、中国の需要に強く依存しており、政府の補助金による公共充電設備の拡充と家庭用充電器の設置増加が市場拡大を後押ししている。多くのEVメーカーが新車購入者に無償で家庭用充電器を提供していることも急増の要因である。欧米でも自社ブランドの家庭用充電器販売が一般化し、EV販売増とともに所有率が向上しているが、補助金打ち切りや高額所得者層の需要の一巡を背景に新車販売に失速がみられることから、2024年には需要が鈍化する可能性がある。

一方、公共用充電スタンドの不足が課題であり、各国で政府や自動車業界がインフラ整備が推進している。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

12月のテーマは「ドローン①機体」と「ドローン②活用支援サービス」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com